

**製品名: リン酸化 NF- $\kappa$ B p65 (Ser536) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87488**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:60 kDa; Observed MW:65 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-NF- $\kappa$ B p65
別名	p65; NFKB3
遺伝子 ID	5970, 19697, 309165
SwissProt ID	Q04206
免疫原	ヒト NF- $\kappa$ B p65 の Ser536 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

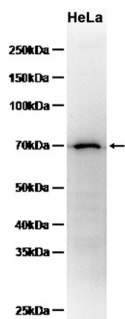
NF- $\kappa$ B は、様々な生物学的プロセスに関与する普遍的な転写因子です。細胞質内では、特異的な阻害剤によって不活性状態で保持さ

れます。阻害剤が分解されると、NF- $\kappa$ B は核内に移動し、特定の遺伝子の転写を活性化します。NF- $\kappa$ B は、REL、RELA、または RELB のいずれかに結合した NFKB1 または NFKB2 で構成されています。NF- $\kappa$ B の最も豊富な形態は、この遺伝子産物である RELA と結合した NFKB1 です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 4 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ホスホ NF- $\kappa$ B p65 (Ser536) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。